

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ブロックチェーン部に記録したはがきデータEM（はがきトークン）について、匿名性を重視する場合と防犯の為発信者特定に役立つ場合の両方を共存させたい。

【解決手段】 ノード3Aのブロックチェーン部のブロックデータに格納するはがきデータEMについて、EMをブロックチェーン部30DLRに格納する。データEMにはブロックチェーンにて持ちいるユーザ秘密鍵由来の証明書によるデジタル署名部ETHCAS又は外部による証明書（例：身分証の証明書・秘密鍵）による署名部CAPCASを記録させる・含ませる。ETHCASはコード認証を用いたユーザ間の認証を通じ登録ユーザをリストに登録する形で信頼の輪を形成してよい。

【選択図】 図1